

ケアンズ通信2014

2014/07/11(金)

国際コースの2年生12名が、オーストラリア語学研修に向けて出発しました。語学研修の場所はパース、ロンドン、アデレードとこれまで何度か変えてきましたが、今年は北東部の観光都市ケアンズを選びました。



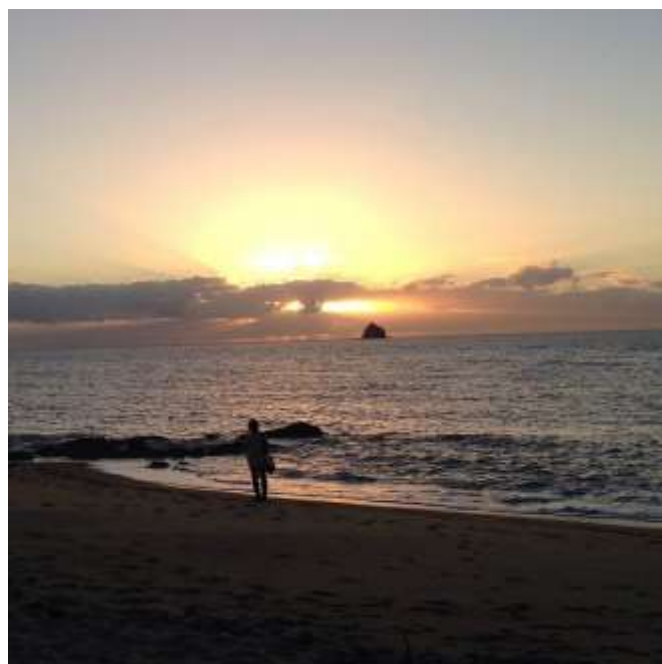
出発式では原校長のあいさつに続いて、生徒代表竹内君が研修への抱負を英語で述べ、引率の水谷先生が「前向きにオーストラリア生活を楽しもう」と生徒を激励しました。出発時刻がちょうど休み時間と重なり、大勢の友達に見送られて元気に出発しました。

日程は7/11～7/31の3週間です。今日の2025に関西国際空港を出発し、直行便で明朝5:10にケアンズに到着予定です。



2014/07/12(土)

現地時間 4:30(日本時間 3:30)にケアンズ空港に無事到着しました。入国審査を終え、バスに乗って空港のやや北にあるパームコーブに日の出を見に行きました。その後市内で各自朝食をとったあと、10時にホストファミリーと対面します。



2014/07/14(月)

週末をそれぞれの家庭で過ごし、8:30に皆集合しました。全員の体調もまずまずです。週末には買い物に行ったり、ケアンズ郊外のマリーバという町にロデオ祭りを見に行ったりと楽しんだようです。



語学学校(CCE)は市内の中心部にあり、バス停がすぐ前でとても便利なところですが、今日から授業が始まりましたが、午前中の授業は難くこなしていました。



午後からはクイーンズランド州最大規模のショッピングセンターでスカベンジャーハント【与えられたミッションをこなしたり、質問の答えを探したりする一種の「宝探しゲーム」】をしました。当然英語で店員に尋ねたりしなければならず、英語力も試されますし、度胸も身につきます。それが終わった後は自由行動となり、買い物をする時間ができました。



2014/07/15(火)

ケアンズの今頃の気温は16℃～26℃と過ごしやすいのですが、今日は朝からシャワーに降られました。(天気はすぐに回復しました。)ただ、交通渋滞がひどかったらしく、集合時間に少し遅れる生徒もいました。ケアンズは香川と同じように、車がないと動き回るのが困難なところですが、どこで渋滞が発生するのかは予想が付きません。

授業は順調に進んでいます。今回私たちの担当はチェルシーという20代の女性です。昨日の授業内容には生徒の英語力を測るような活動が盛り込まれていました。チェルシー先生からは「反応も良く、good students!」とお褒めをいただきました。最後の日まで褒められ続けるといいのですが、今日は昼から Tropical Zoo(熱帯動物園)に行くので、午前はオーストラリア動物についての学習です。



昼からのアクティビティ Tropical Zoo は、初日に日の出を見に行った海岸に近いところにある私立の動物園で、オーストラリアの固有種を含めて120種類、1200匹以上の動物が飼育されています。コアラはだっこできるし(有料ですが…)、カンガルーには近づけるし、ワニも間近にみられました。開放感あふれる動物園に生徒たちは驚いていました。「東かがわ市にもこんな動物園欲しいなあ…」by ある生徒。今日はこんな感じです。

早くも「ホームシックだ〜」と言っている生徒もいますが、口に出せているくらいだから特に心配していません。料理が多すぎたり、嫌いな食事ばかり出たり、フードコートで注文と違うものが出てきたりと大変な状況も、自分で交渉したりして難を乗り切っていました。



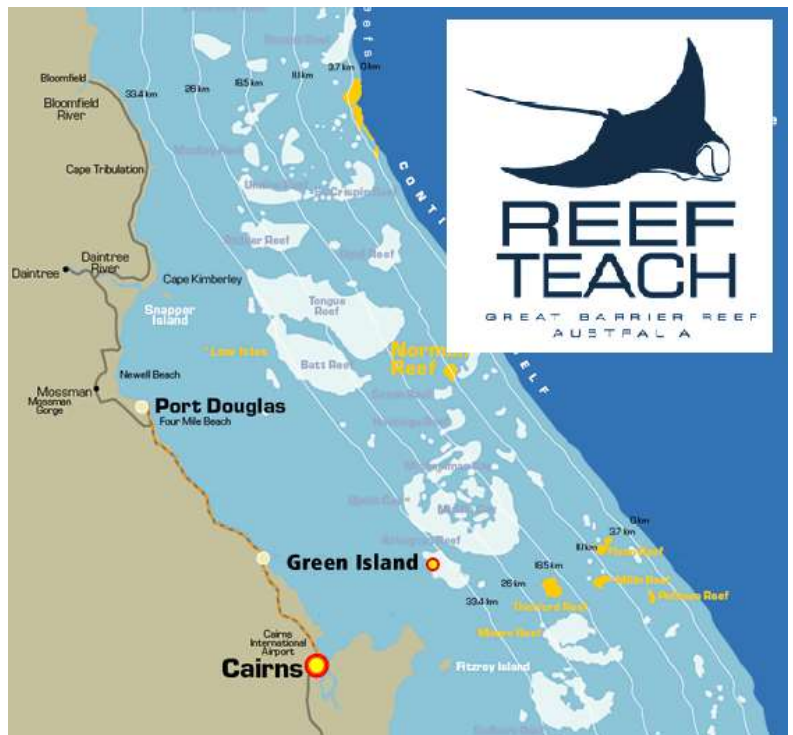
2014/07/16(水)

今日は、生徒たちは遅刻することもなく、無事時間通りに学校に到着しました。

昨日の写真ですが、にわか雨の後、きれいな虹が出ていました。



さて、今日の午前中の授業は、昨日 Tropical Zoo で見たオーストラリア動物の復習とゲーム、オーストラリア英語(オーストラリア特有の発音や表現)の学習です。明日はケアンズの沖の珊瑚礁に浮かぶグリーン島へ行くので、昼からのアクティビティはグレート・バリアーリーフ(GBR)についての学習に出かけます。ケアンズを訪れた人々にとても人気のある「リーフティーチ」というプログラムで、学校のすぐ近くの場所で受けられます。



ところでオーストラリアでのインターネット環境ですが、約半数の生徒が家でもWifi接続できているようです。ただ、携帯のモバイル通信がONになっている場合、Wifi以外でつながってしまうと法外な料金がかかってしまうので、そうならないよう全員の携帯をチェックし、モバイル通信OFFにしました。

2014/07/17(木)

今日も皆元気良く登校しました。昼からはグリーン島に行くので、水着やらの準備でいつもより荷物が多いです。朝からビーチサンダルで登校している子もいました。こちらでは街中はビーチサンダルや裸足で道を歩く姿を良く見かけます。朝の授業は、REEF TEACHの復習と自分たちの Dream Island の作成、グリーン島の知識チェックの問題に取り組みました。そして、待ちに待ったグリーン島へ！約 50 分の船旅…かなり揺れます。酔います。そして、目の前に広がるエメラルドグリーンの海。



シュノーケリング班とグラスボート班に分かれてグレートバリアーリーフの海を堪能しました。この海を見るだけでもケアンズに来たかいがあった～！たった2時間程度の滞在だったので「もっといたかったなあ～」と生徒たちは言っています。シュノーケリングして小さなサメを捕まえたT君。オーストラリアに来ても期待にこたえてやってくれてます。

グリーン島から帰って来るとなんとサプライズが！教室に戻ると、そこにはお誕生日のケーキが！生徒たちがお祝いしてくれました♡



2014/07/18(金)

今日、ケアンズは祝日です。ケアンズショーという「移動式遊園地」がこの今日までの3日間ケアンズにやって来て、遊園地のない町は大にぎわい。その関係で今日の金曜日がこの地域だけが「お祭り祝日」になります。私たちは予定どおり授業があったのですが、ホームステイ先のファミリーが休日モードで、少しだけ遅刻したりする子もいました。

(ケアンズショーの様子はこちら→

<http://cairnslifestyle.com/event/cairns-show/>)



今日の午前中の授業は昨日からの Dream Island を完成させて、それぞれプレゼンテーションを行いました。それが終わると次は食材の勉強をしました。なぜなら今日の昼からのアクティビティは Australian Cooking ですから(^)

まずは3人ずつのグループに分かれて、すぐ近くのマーケット(新鮮市場みたいな所)へ果物の買い出しミッション。それぞれ決められた果物(ドラゴンフルーツ、カスタードアップル、パイナップル、スイカ)のうち1つを3ドルで買うというもの。ドラゴンフルーツ見た目は凄くインパクトがあるのですが、味の方は表現が難しい果物でした。カスタードアップルも日本では見かけないものです。



買い物の後はクッキングタイム。お題目はバナナケーキ。みんな手際よくすいすいと…とはいかず、というかレシピの英語がわかってないのかも…。とりあえずケーキが焼き上がるまで、Who am I? (「私は誰でしょう」ゲーム)をして、出来上がったバナナケーキを食べて本日終了。さて、ホストファミリーとの生活ですが、生徒は知っている限りの英単語を駆使して自分の意思を伝えています。それでも伝わらなかったりすることが多々ありますが、がまんしたり、もう一度チャレンジしたり、身ぶり手ぶりで伝えたり。日本では味あわない(味わえない)苦勞をしています。それでもその苦勞が生徒たちの力になることと信じています。平日も大変ですが、1日中英語で話さなくてはならない週末が最も大変な時間なのです。明日から2度目の週末を迎えます。いろいろな所に連れて行ってもらえると思いますが、どうなりますことやら。その様子は週明けにお伝えします。



休み時間の卓球を楽しむ

2014/07/21(月)

こちらは天気が大きく崩れることなく、生徒たちも健康的に過ごしています。週末は、それぞれのホストファミリーにビーチに連れていってもらったり、パーティに参加させてもらったりと楽しく過ごしたようです。

ケアンズの近くにはたくさんのビーチがあります。グレートバリアリーフの白い砂とは違って、ケアンズの砂はやや褐色です。マングローブやヤシなどの植物の影響だそうです。写真は初日の早朝に日の出を見に行ったパームコーブ(椰子の木岬)から、南に向かってケアンズ方面を写したものです。



語学学校も第2週目の始まりです。今日の午前中の授業は、買い物のやり方練習、仮想ショップの構想練りなどをしました。午後からはアボリジナルアート体験をしました。アボリジニ人は独特の文化を持つオーストラリアの先住民です。ブーメランは彼らの狩猟道具の一つで、そのブーメランにアボリジニ風の絵をかきました。適当にかかれているようですが、伝統的なかき方がある上、点や形に一つ一つ意味があり、文字の役目も持っていたとのこと。しかも筆ではなく、指先や竹串を使って細かくかかねばならず、時間がけっこうかかり大変でした。では皆の作品を紹介します。

中日なので、そろそろ日本の味が恋しくなってくる頃だと思って、大量に買っていたレトルト味噌汁を皆にプレゼントしました。かなり喜んでいました。さあ、後半も頑張って貰いましょう。



2014/07/22(火)

私たちの専用教室は一般の生徒たちとは違うフロアで、他の学生と離れたところにあります。隣にもショートステイ用の教室があり、先週は群馬の高崎工業、今週はなんと名古屋の小学生たちが保護者と一緒に来ています。

今日の授業は、単語の綴りの早押しクイズから始まり、仮想ショップのチラシ作りとそのプレゼンテーション、昼から行く美術館の予習をしました。

昼食後アートギャラリーに行く途中に、「悲しいとき〜、悲しいとき〜」でおなじみのお笑いコンビ「いつもここから」に遭遇しました。アートギャラリーではアボリジニ芸術の本格的な作品を鑑賞しました。ちょうどクィーンズランド州現代アボリジニ芸術作品展も開催されていて、目にも鮮やかな色が強烈なエネルギーを発している独創的な作品が展示されていました。



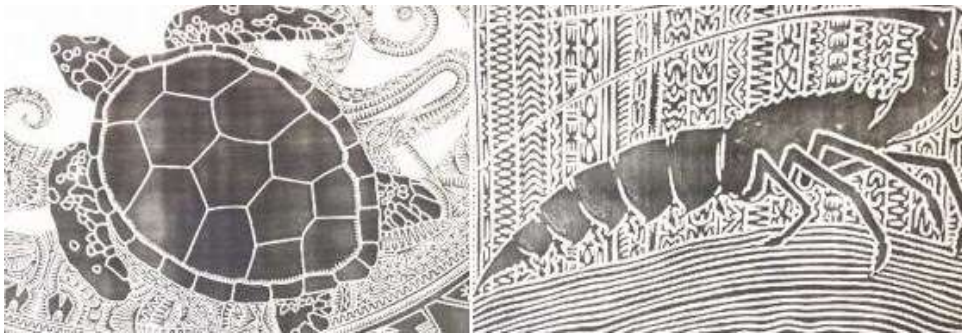
アートといえば今回の研修旅行冊子のデザインは、国際コースのメンバーの生徒によるものです。裏表紙の似顔絵の表情が素晴らしいので紹介したいと思います。絵のように最後まで笑顔を決やさず頑張ります。



2014/07/23(水)

今朝は、語学学校から車で15分のケアンズ郊外にある WOREE STATE HIGH SCHOOL に行きました。
全校生徒は800人くらいの規模の学校です。

私たちはYEAR12(16～17歳)の生徒たちとの交流を行いました。まずは、美術の授業を一緒に受けました。昨日も見つた Torres Strait (トレス海峡) の芸術の手法を真似て絵を描きました。トレス海峡とはオーストラリア北端のヨーク岬半島とニューギニアとの間の海峡で、この地域のアボリジニ人はメラネシアの人々との交流から、独特の芸術を持っています。写真は、トレス海峡芸術の手法の例と現地生徒たちとの写真です。



その後は、現地生徒たちによるスクールツアー(校内案内)、先方の学校からお土産とランチを頂きました。こちらからも何かを持って行けば良かったと少し後悔。休み時間には、バスケット部のMJ君が現地生徒とバスケットに興じていました。



shining TOM

バスで語学学校に戻り、昼からの授業は道案内の練習をしました。放課後は、フェアウェルパーティの構想をようやく始めました。

2014/07/24(木)

今日は、朝は少し曇りの天気でしたが、昼からは晴れました。午前中の授業は Who am I のゲームから始まり、昨日の復習、体の部位の名称、そして熱帯雨林の基礎知識を学びました。昼からは語学研修の中でもグリーン島に匹敵する大物イベントの、キュランダ & スカイレールです。ケアンズから北西方向に向かってバスに乗り約1時間。標高 500mにあるキュランダはアボリジニの言葉で「熱帯雨林にある町」という意味で世界遺産(自然遺産)にも登録されています。かつては木材を運ぶ拠点として栄えましたが、今は人口 700 人の小さな観光の町です。マーケットがあり、おみやげを買ったりホットドッグを食べたりしてしばらく楽しみました。再集合して、スカイレールにいざ全員乗車！…となるはずが、予約ミスで 30 分待たされることになりました。



スカイレールは 6 人乗りの緑色のゴンドラで、通年営業のロープウェイでは世界一長い距離 (7.5km) を 45 分かけて移動します。スカイレールから見た熱帯雨林の壮大さには圧倒されました。



熱帯雨林の森をかすめながら移動するのですが途中下車もできます。一つ目の途中下車駅は、パロンフォールズ駅。落差も幅も大きな滝なのですが乾季のため水量が少なかったのが少し残念でした。乾期と雨期の水量の違いはこんな感じだそうです。



パロンフォールズ



乾期と雨期の水量差

二駅目は、レッドピーク駅。時間があれば、ボードウォークを歩き散策できる予定でしたが、最初の時間ロスのため省略。レッドピーク駅からは終着駅まで一気に下り、ケアンズ周辺のパノラマが広がります。けっこう高い場所を移動するのですが、ロープの支柱を通過する時は思ったより揺れますし、急にスピードが出たりゆっくりしたりしてスリル満点です。高所恐怖症？の一部の生徒はゴンドラが怖く、キャーキャー言ったり、下を向いたり。でも無事山の麓の駅に到着しました。



ケアンズのパノラマ 海にはグレートバリアリーフ

2014/07/25(金)

今日は朝から天気が悪く霧雨が降っていました。しかし、時間が経つにつれて、雨も止みましたが曇り空です。朝の授業は体の部分の名前の復習、感情を表す表現、早口言葉などを行いました。昼からは、学校から車で15分くらいのところにあるケアンズ植物園。無料ですがよく整備された植物園で、ゆったりと3時間散策をしました。昨日のスカイレールでは熱帯雨林を上から眺めましたが、今日は森の中から巨大な樹木を見上げるという感じです。



ボードウォークという散策路が整備され、木々と共存しながらの植物園になっています。途中見たこともない色とりどりの花が咲いています。ガイドがついていればさらに面白かったと思います。生徒たちは、写真を取りながら、リラックスしていました。



滞在も残り1週間を切りました。皆、体調を崩すことなく元気でやっております。今週に入り、分からないことがあっても教員に頼らず、自分で直接外国人に尋ねるようになってきました。少しずつですが外国生活に慣れてきたようです。さあ、三度目の週末です。またまた楽しい経験ができることでしょう。

ケアンズ通信番外編【TOM氏ネタ】

<その1>

とある生徒のファミリーの夕食会に招待されたTOM氏、山の上のその家は、熱帯林の大自然のなかにあるポリネシアン風の大邸宅。開放的なリビングはそのまま庭につながり、庭には当然プール。お友達の女性達(元CAで美人揃い)も集まり、南十字星輝くテラスで南国のリゾート気分を楽しむTOM氏は、いつもより少しハイテンション。奥様にまかされたBBQ(バーベキュー)の火を盛大におこしました。

ところが、出てきた料理はラザニア、ポテト、野菜サラダなどヘルシーなものばかり、いつまでたっても肉や海鮮などBBQの具材らしきものは一つも登場せず。TOM氏???

結局、キャンプファイヤーのような巨大な火は、デザートのマシュマロをちょこっと焼くのに使っただけだったとさ。



Burning TOM

<その2>

キュランダのお土産物店で「地元のサトウキビを使ったキャンディ、おいしいよ～」という店員の言葉にさそわれて、試食品をもらったTOM氏。「おいしい、おいしい、これぞなつかしい自然の味～。昔の引田のサトウキビを思い出す～」と感激しながらキャンディを何度も何度も噛みしめていたら、突然「ガリッ!!」と頭蓋骨に響くいやな音が。

「何か異物混入か?」と思って見てみると、そこには奥歯の詰め物がポロリ・・・。

生徒や店員の楽しい雰囲気を壊すのはまずいと思い、その場はおとなしく、「More?」(もう一ついかが?)と勧められても「No, thank you!」としか言えなかったのが残念。

スカイレールでは足もともスースー、奥歯もスースーしていたTOM氏でした。

2014/07/28(月)

昨日、ケアンズは朝から大雨で、せっかくの日曜日でしたが生徒たちはあまり外出できなかったようです。でも家で過ごす時間がもっとも英語力が鍛えられるチャンスでもあるので、それもまたよかったかなと思います。生徒たちの日本食への恋しさも最高潮に達しています。さて、語学学校も残り3日になりました。今日は朝から霧雨でしたが、全員遅刻もせず元気に登校しました。午前の授業は、長文を読んで5WIHを抜き出し要約文を書くというもの。なかなか難しかったようです。その後、先週勉強した感情の表現の復習テストをしました。午後から乗馬&釣体験です。学校から南へバスで45分くらいのMount 'N' Rideに向かいました。現地では二つの班に分かれて活動しました。釣り体験は「バランディ」という古代魚のような魚(アボリジニ語で「おおきな鱗」の意)を釣るのですが、1班で一番に釣れたのはNさん。両班ともに2匹が最高成績。



乗馬体験は、馬に乗り熱帯林の中や小川のあるコースを1時間ぐらいかけてゆっくり回るといものでした。日本人スタッフも多く、生徒たちも安心して取り組みました。馬も生き物ですから、途中で道草ならぬ道葉を食べようしたり、トイレをしたり…。葉っぱを食べさせないように手綱を上手く操作しないといけないのが大変でした。馬はちゃんと調教されているので、全員落馬することなく皆無事に終わりました。最後に馬にエサをやり、人間様はフルーツ頂きました。



自分より足の短い馬を連れてきた TOM 先生

2014/07/29(火)

滞りも残すところあと2日となりました。今日は晴れています。午前中は、ゲームから始まり、休憩をはさんで今まで習ったことの復習テスト。難しい問題もあれば、楽勝な問題も。決して難しい事を問われてはませんが、単語の意味が分からなくて何を聞かれているのか分からない場合が多いようです。語彙力UPが課題です。オーストラリアの州名、オーストラリアの野生動物などなど…。さあ、何点取れるでしょうね～。授業をやりっ放し受けっ放しではなく、確認のテストを行うのは、私的には◎(二重丸)です。テスト後はリラックスしてゲームを。5秒以内にお題(例えば Name three things you can cut)に答えないといいがない 5seconds rules というボードゲームと、25 個のサイコロにアルファベットが書かれていて、3分以内に単語を何個見つけられるかというゲームを2班に分かれて実施。



午後は、ラグーンに出たのんびり過ごしました。まずは、エスプラネードのボードウォークについての質問に答えるクイズをしてから、ビーチバレー。その後、プールに入ったり、芝生で寝転がったり。ランチはいつもはホストファミリーが用意したサンドイッチとかですが、今日は、「FISH&CHIPS が食べたい」という生徒が何人かいたので、レストランでそれを食べました。勿論、前日にその予定をきちんと自分でファミリーに伝えていたのはいうまでもありません。明日の夜はお別れパーティなので、今日の夕食がホストファミリー先で取る最後のディナーとなります。



2014/07/30(水)

今日でいよいよCCEの授業も最後となりました。今日も皆遅刻せず元気に学校にやって来ました。今回の研修でCCEの出席率は100%です。昨日の確認テストの結果がかえってきましたが、15点満点中多くが10点以上を取りまずまずの成績でした。最高点は13点！午前中は、比較級のおさらいをして、思い出本作り。最後に修了証をいただき授業は終了しました。昼からは、さよならパーティBBQの準備として買い出しをします。



さて、夕方からのフェアエルパーティですが、こちらが思っていた「お別れパーティ」とはちょっと違ってました。ホストファミリーも、パーティに参加するということを聞いていなかったらしく、パラパラとやって来ては、それぞれフリーダムバーガーを食べて、各自帰っていくという、まあ、ある意味オーストラリアンスタイルな(細かなところをあまり気にしない)感じでした。

静かにケアンズの日は落ちていき、明日はいよいよ帰国です。

明日は、連絡が十分にできないかもしれませんが、とくに何も無ければ計画どおり進行しているということでご安心ください。



BBQとケアンズのたそがれ

2014/07/31(木)午前の部

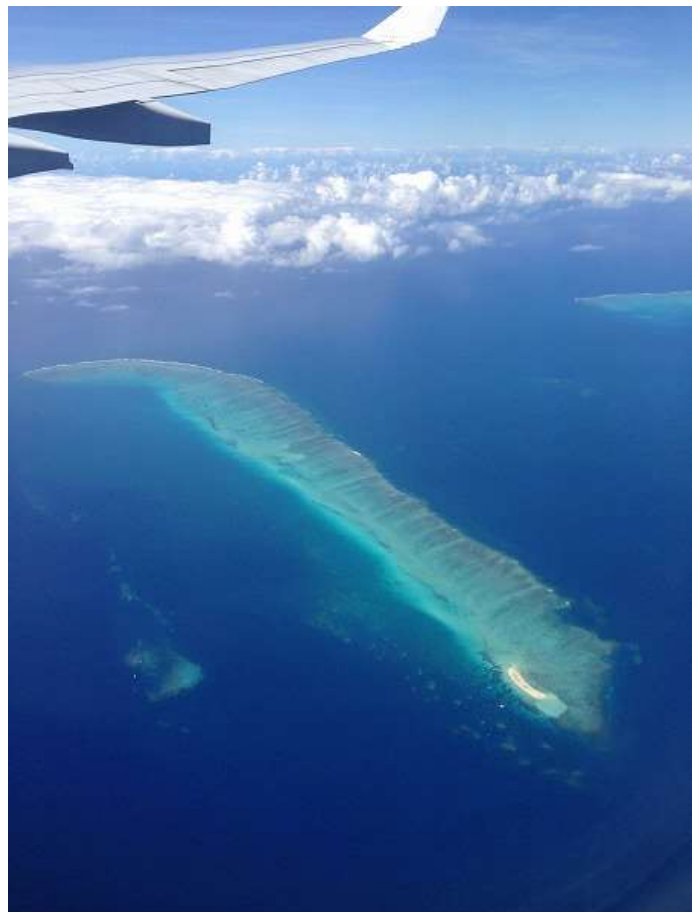
9:00にCCEIに集合して、それぞれホストファミリーと涙で別れたり、再会を誓ったり。あるホストファミリーは、「あなた来年も来るんですよ？」と聞いてきたり。日本食や日本の家族は恋しいものの、みんなまだまだケアンズにいい様子でした。最後にチェルシー先生と一緒に写真を撮り、ケアンズ空港に向かって出発しました。



CCEIの前でチェルシー先生と共に

9:20には空港に着き、チェックイン。おみやげの買い過ぎで荷物が20kgの規定重量を超えた者もいたのですが、なぜか追加料金を請求されることなく、無事に荷物を預けることができました。ほぼ定刻通り飛行機は出発し、日本へ。オーストラリアに来た時は早朝だったため、暗くて窓からの景色は見えませんが、帰りは飛行機からグレートバリアリーフがくっきりと見えました。今回利用した航空会社Jet StarはLCC(ローコストキャリアー)ではありますが、機内食も美味しく、サービスもまったく問題なく、良かったと思います。

それではご家族の皆様、お迎えをよろしくお願いします。



紺碧の海に映えるグレートバリアリーフ

2014/07/31(木)午後の部

【帰校までの記録】

- 8:10 CCEIに全員が集合後ホストファミリーとお別れをして学校を出発！
- 11:30 ケアンズ国際空港発
- 12:30 パプアニューギニアのポートモレスビー上空通過
- 14:00 ミクロネシア連邦(カロリン諸島)上空を順調に飛行中
- 15:00 マリアナ諸島上空を飛行中、まもなくグアム島
- 16:00 グアム島通過、テナン島上空を飛行中
- 17:00 小笠原諸島の硫黄島上空を飛行中
- 18:58 関西国際空港到に着
- 19:55 バスが関空を出発
- 21:40 室津SA出発
- 22:40 無事帰ってきました

